

インターンシップ実施状況調査結果の概要

1 インターンシップ等（教育実習を含む）の実施概要

今回調査による回答数は学部で354学部、大学院で修士課程318研究科、博士課程で256研究科、短期大学25大学であった。教育実習も含めて何らかのインターンシップ等に9年度中に参加した大学学部は75.7%に及び修士課程でも18.2%、博士課程で4.3%、短期大学で12.0%という値を示している。

10年度の実施予定を見ると、短期大学が前年度と変わらないだけで、学部、大学院修士課程、大学院博士課程ともに増加の傾向を示しており、大学学部で7学部、大学院修士課程で18研究科、大学院博士課程で5研究科が新たな参加を予定している。（表1参照）

(表 1)

区分	回答数	9年度参加学部数(単位有り)	9年度参加学部数(単位無し)	9年度参加学部数計	9年度実施割合	10年度参加学部数(単位有り)	10年度参加学部数(単位無し)	10年度参加予定学部数計	10年度実施予定割合
学部	354	244	24	268	75.7	244	31	275	77.7
修士課程	318	51	7	58	18.2	63	13	76	23.9
博士課程	256	8	3	11	4.3	12	4	16	6.3
短期大学	25	1	2	3	12.0	1	2	3	12.0

また、9年度に大学学部で参加した学科は1000学科、参加者数は38724人に及んでいる。修士課程では、139専攻、387人、博士課程では25専攻、57人となっている。短期大学については、6学部、74人となっている。

10年度の実施予定は学部で1039学科、39846人の参加者が予定され増加が明確であり、修士課程においても159専攻、491人の参加者と増加の傾向にあり、博士課程においても26専攻、85人の参加者と微増ながら増加の傾向を示している。短期大学についても1学科が増加し、111人の参加が予定されている。（表2参照）

(表 2)

区分	9年度参加学科数(単位有り)	9年度参加者数(単位有り)	1学科当たり参加者数	9年度参加学科数(単位無し)	9年度参加者数(単位無し)	1学科当たり参加者数	9年度参加学科数	9年度参加者数
学部	957	37935	39.6	43	789	18.3	1000	38724
修士課程	126	344	2.7	13	43	3.3	139	387
博士課程	20	39	2.0	5	18	3.6	25	57
短期大学	4	27	6.8	2	47	23.5	6	74

区分	10年度参加予定学科数(単位有り)	10年度参加予定者数(単位有り)	1学科当たり参加予定者数	10年度参加予定学科数(単位無し)	10年度参加予定者数(単位無し)	1学科当たり参加予定者数	10年度参加予定学科数	10年度参加予定者数
学部	974	38977	40.0	65	869	13.4	1039	39846
修士課程	140	444	3.2	19	47	2.5	159	491
博士課程	19	64	3.4	7	21	3.0	26	85
短期大学	5	54	10.8	2	57	28.5	7	111

2 教育実習を除くインターンシップの概要

教育実習を除くインターンシップの参加状況を見ると、平成9年度においては単位取得が認められるものは、354学部中64学部（18.1%）が、大学院修士課程では318研究科中11研究科（3.5%）、博士課程では256研究科中3研究科（1.2%）となっている。単位取得が認められないものは、354学部中22学部（6.2%）、大学院修士課程では318研究科中6研究科（1.9%）、博士課程では256研究科中2研究科（0.8%）となっている。

平成10年度においては単位取得が認められるものは、354学部中73学部（20.6%）、大学院修士課程では318研究科中16研究科（5.0%）、博士課程では256研究科中5研究科（2.0%）となっている。単位取得が認められないものは、354学部中27学部（7.6%）、大学院修士課程では318研究科中12研究科（3.8%）、博士課程では256研究科中3研究科（1.2%）となっている。いずれも対前年度増となっている。特徴的なのは、学部の参加予定の大幅な増加で単位取得が認められるインターンシップが47学科、参加者数で約500人の増となっている。（表3参照）

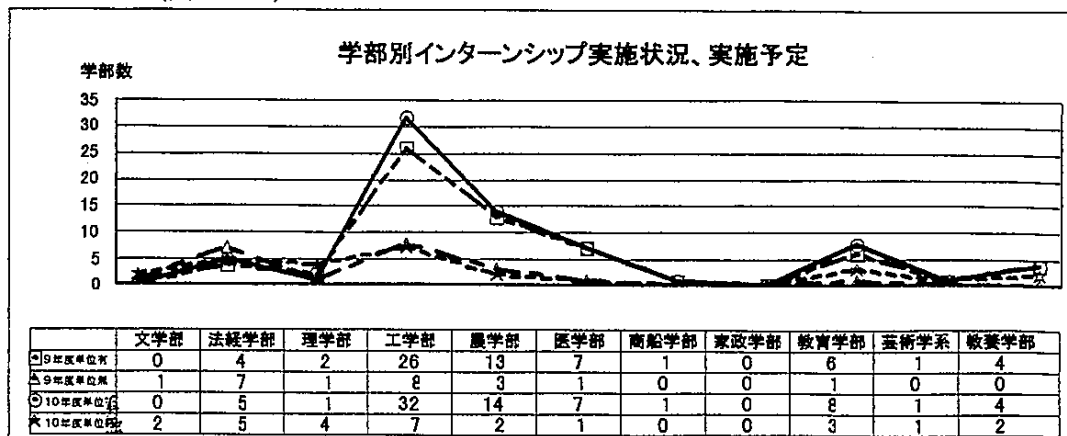
（表 3）

区分	学部数	平成9年度における実施状況									
		授業の一環・単位取得が認められているもの					単位取得が認められないもの				
		実施の有無	参加学科数	参加者数	実施学部の割合	1学科当たりの参加者	実施の有無	参加学科数	参加者数	実施学部の割合	1学科当たりの参加者
学部	354	64	230	4517	18.1	19.6	22	26	430	6.2	16.5
修士課程	318	11	23	196	3.5	8.5	6	12	41	1.9	3.4
博士課程	256	3	13	27	1.2	2.1	2	4	17	0.8	4.3
短期大学	25	1	4	27	4.0	6.8	2	2	47	8.0	23.5

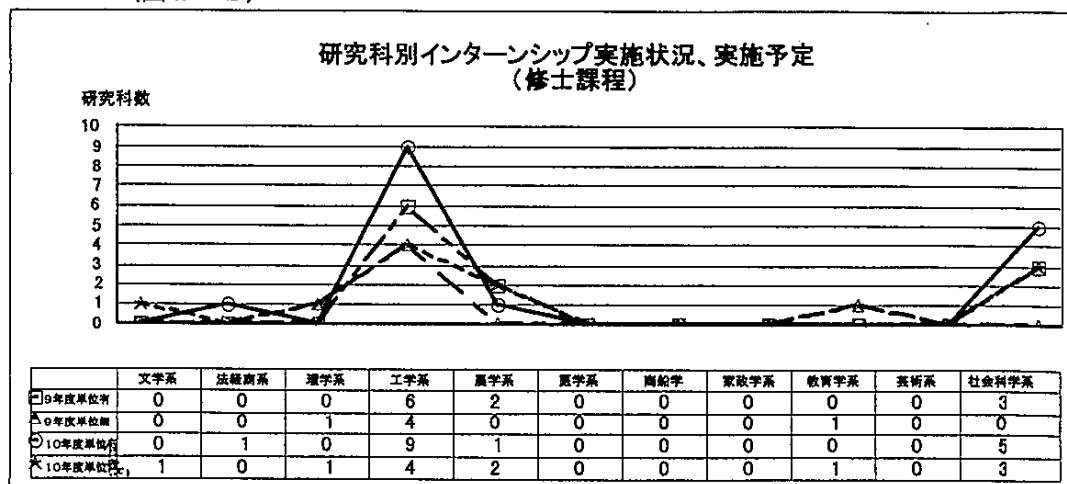
区分	学部数	平成10年度における実施予定									
		授業の一環・単位取得が認められているもの					単位取得が認められないもの				
		実施の有無	参加学科数	参加者数	実施学部の割合	1学科当たりの参加者	実施の有無	参加学科数	参加者数	実施学部の割合	1学科当たりの参加者
学部	354	73	277	5014	20.6	18.1	27	46	479	7.6	10.4
修士課程	318	16	30	284	5.0	9.5	12	18	46	3.8	2.6
博士課程	256	5	10	52	2.0	5.2	3	4	21	1.2	5.3
短期大学	25	1	5	54	4.0	10.8	2	2	57	8.0	28.5

学部別の実施状況、実施予定を見ると工学部、農学部が多く、文系学部の実施が少ないという結果になっている。（図1-1参照）大学院の実施状況については実施数が少ないが、工学系の研究科の実施数が多く、人文社会研究科が続いているという状況にある。（図1-2参照）

(図1-1)



(図1-2)



3 インターンシップについての意見の概要

(1) 就職活動意識や就職感の高揚について

学部別、研究科別のアンケート結果について表4に示したが、無回答というケースが多くなっている。回答のあった大学学部、大学院についてみると、大学学部、大学院修士課程、大学院博士課程の順に「効果がある」の回答が多く、「効果がない」「わからない」が逆に少なくなっている。(表4、図2参照)

(2) 就職・採用活動への影響について

大学学部では「影響がある」という意見のほうが多いが、大学院の修士課程、博士課程と進むにつれ「影響がある」という意見が少なくなっている。(表5、図3参照)

(3) 適当な実施時期について

① 実施学年

大学学部については、3学年を適当な実施時期としている回答が62.0%と最も多く、大学院修士課程は1学年が74.3%、博士課程は2学年が48.4%、

1 学年が 41.9%と 2 分する結果となっている (図 4 参照)

② 実施月

大学学部、大学院とも大きな変化はなく 7 月、8 月に集中しており、夏休み時に実施するのが適当というのが大半の意見と考えられる。(図 5 参照)

表4 就職活動意識や就職感の高揚について

区分	学部・研究科名	学部数	就職活動意識や就職感の高揚について			
			効果がある	効果がな い	わからな い	無回答
学部	文学部	21	7	0	6	8
	法学部	53	21	0	18	14
	理学部	32	12	1	9	10
	工学部	58	39	0	7	12
	農学部	36	18	1	7	10
	医学部	66	10	0	10	46
	商船学部	2	2	0	0	0
	家政学部	2	1	0	0	1
	教育学部	57	33	0	8	16
	芸術学系	4	2	0	1	1
	教養学部等	23	7	0	5	11
	学部計	354	152	2	71	129
	修士課程	文学系研究科	19	3	0	5
法学政治学研究科		50	5	0	12	33
理学系研究科		34	4	0	9	21
工学系研究科		50	14	0	5	31
農学系研究科		35	4	0	7	24
医学系研究科		28	2	1	5	20
商船学系研究科		2	0	0	2	0
家政学系研究科		2	0	0	0	2
教育学系研究科		58	6	0	11	41
芸術系研究科		5	1	0	1	3
社会科学系研究科		35	7	0	10	18
修士課程計		318	46	1	67	204
博士課程		文学系研究科	14	2	0	3
	法学政治学系研究科	26	2	0	7	17
	理学系研究科	32	2	0	11	19
	工学系研究科	51	2	1	10	38
	農学系研究科	21	0	0	6	15
	医学系研究科	65	0	2	8	55
	商船学研究科	2	0	0	2	0
	家政学系研究科	1	0	0	0	1
	教育学系研究科	10	0	0	2	8
	芸術系研究科	4	1	0	1	2
	その他	30	2	0	6	22
	博士課程計	256	11	3	56	186
	短期大学	25	4	0	3	18

図2-1

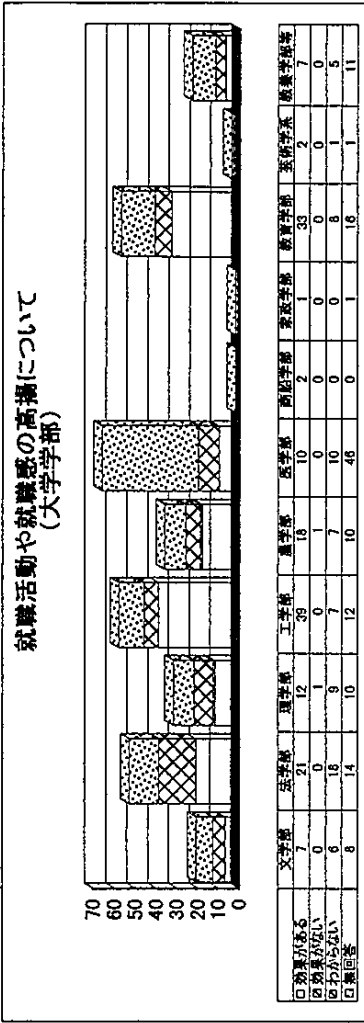


図2-2

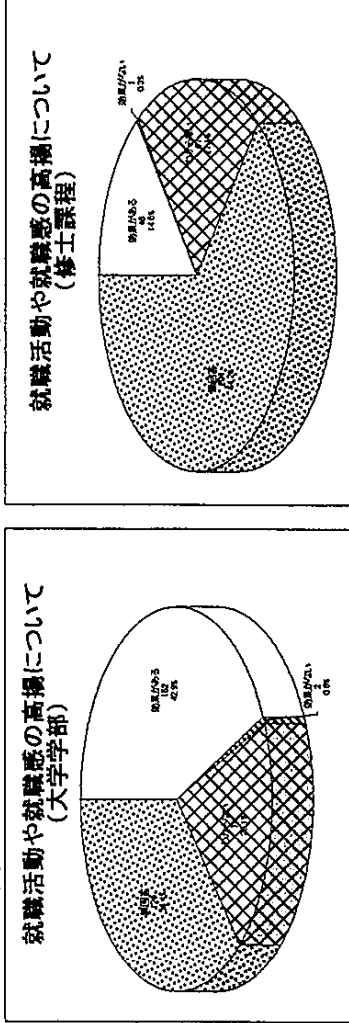


図2-3

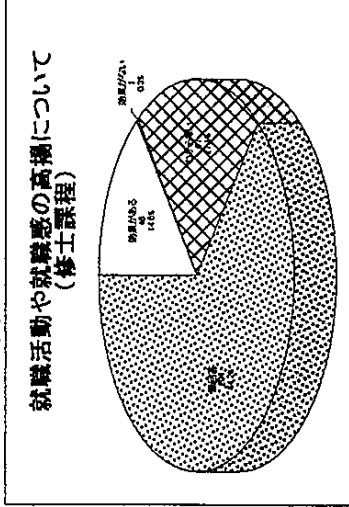


図2-4

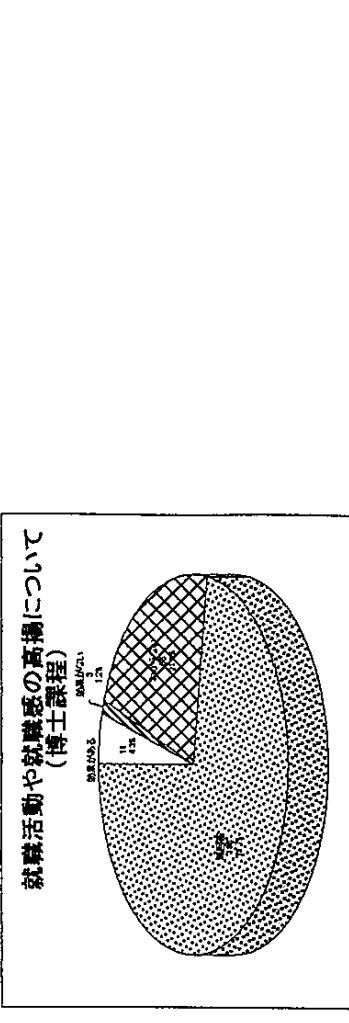


表5 就職・採用活動への影響について

区分	学部・研究科名	学部数	就職・採用活動への影響について		
			影響がない	影響がある	わからない
学部	文学部	21	1	6	8
	法学部	53	6	7	25
	理学部	32	3	7	12
	工学部	58	8	18	21
	農学部	36	5	9	13
	医学部	66	2	7	10
	商船学部	2	0	0	2
	家政学部	2	0	1	0
	教育学部	57	7	22	11
	芸術学系	4	0	2	1
修士課程	教養学部等	23	2	3	7
	学部計	354	34	82	108
	文学系研究科	19	1	2	5
	法学政治学研究科	50	1	3	13
	理学系研究科	34	2	2	9
	工学系研究科	50	2	5	12
	農学系研究科	35	3	0	8
	医学系研究科	28	2	1	5
	商船学系研究科	2	0	0	2
	家政学系研究科	2	0	0	0
博士課程	教育学系研究科	58	1	4	12
	芸術系研究科	5	0	1	1
	社会科学系研究科	35	2	4	11
	修士課程計	318	14	22	78
	文学系研究科	14	1	1	3
	法学政治学系研究科	26	1	1	7
	理学系研究科	32	0	2	11
	工学系研究科	51	0	0	12
	農学系研究科	21	1	0	5
	医学系研究科	65	2	0	8
博士課程	商船学系研究科	2	0	0	2
	家政学系研究科	1	0	0	0
	教育学系研究科	10	0	0	2
	芸術系研究科	4	0	1	1
	その他	30	0	1	7
	博士課程計	256	5	6	58
	短期大学	25	1	3	3
	無回答				18

図3-1

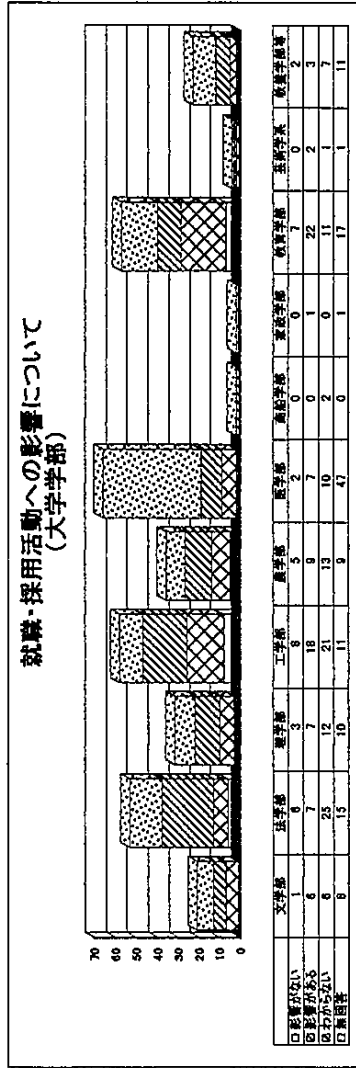


図3-2

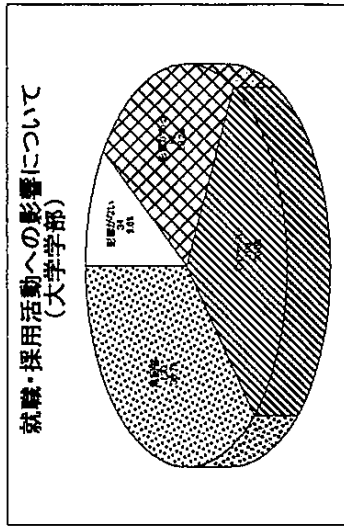


図3-3

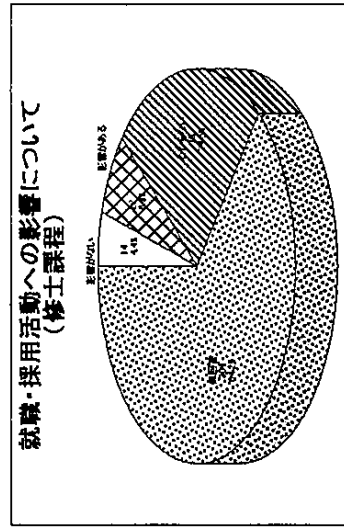
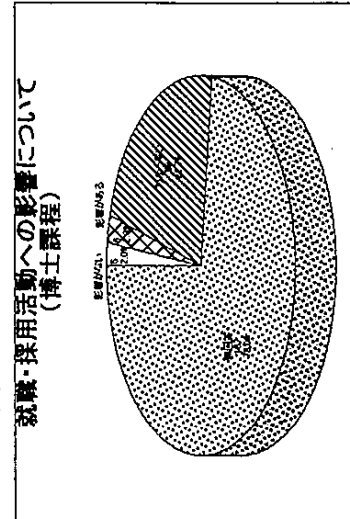


図3-4



インターンシップの適当な実施時期についての概要
(適当な実施月)

図4-1

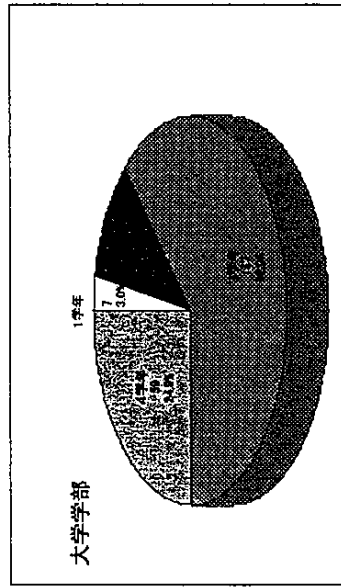


図5-1

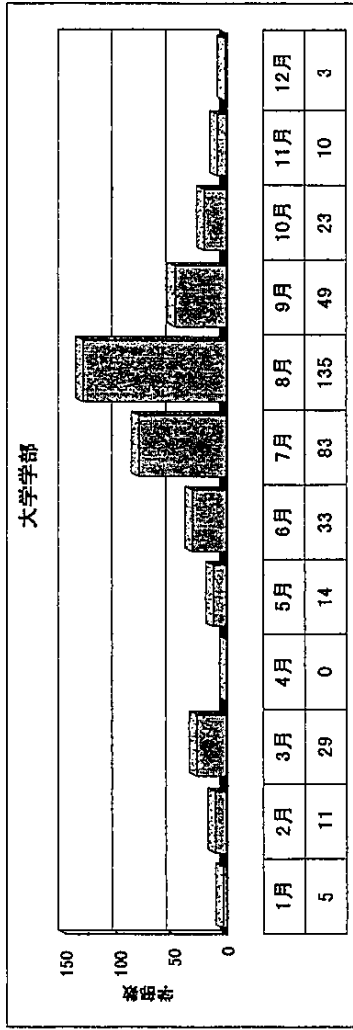


図5-2

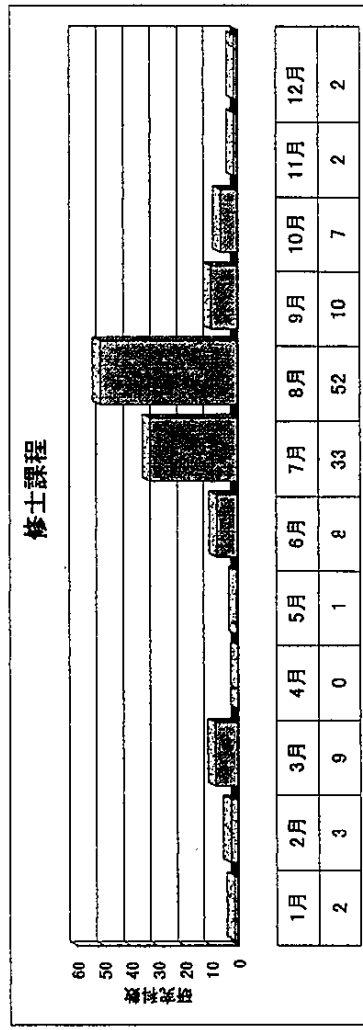


図5-3

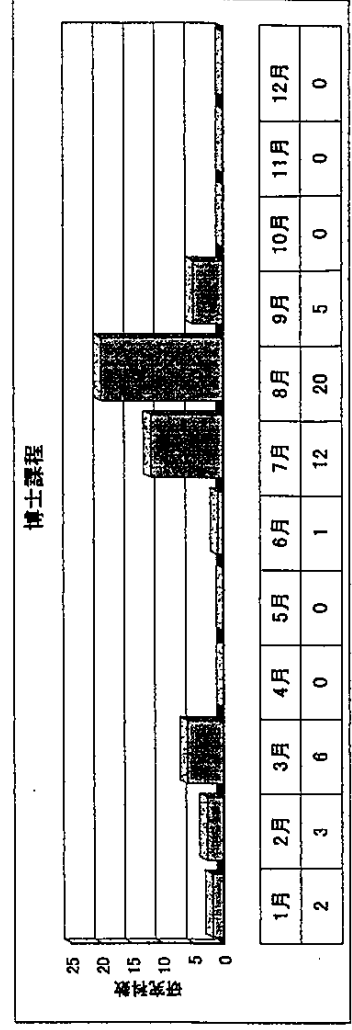


図4-2

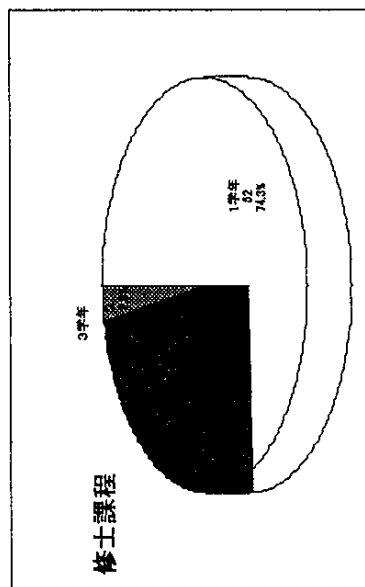


図4-3

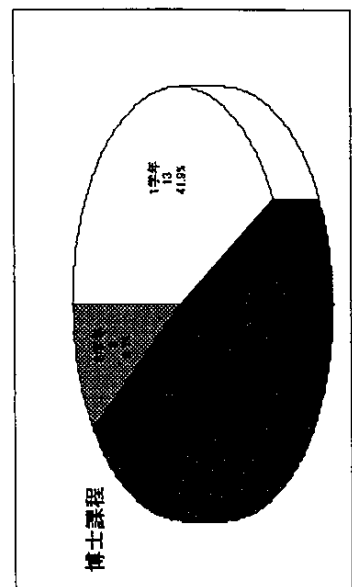


図2-1

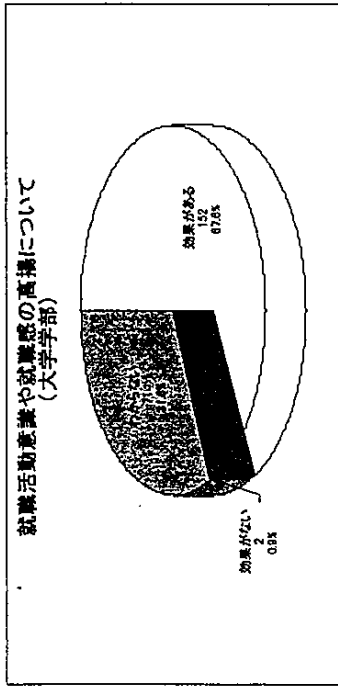


図2-2

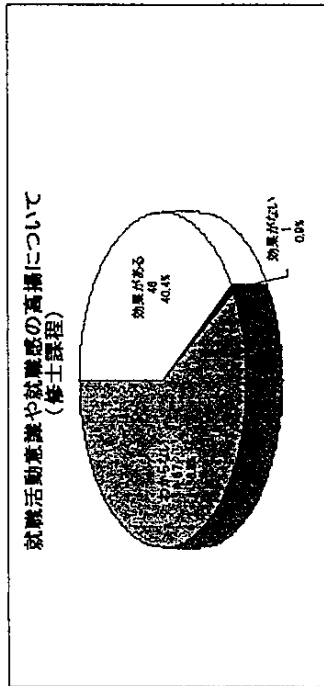


図2-3

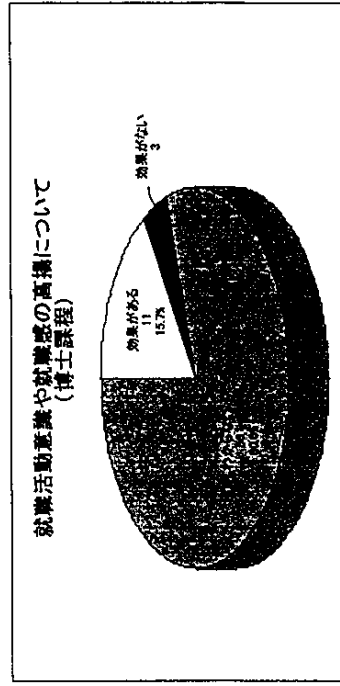


図3-1

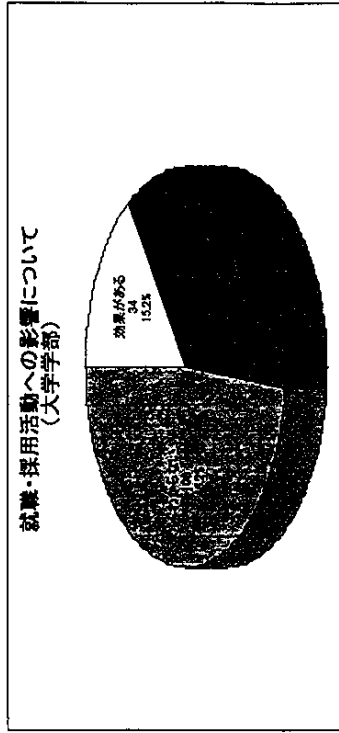


図3-2

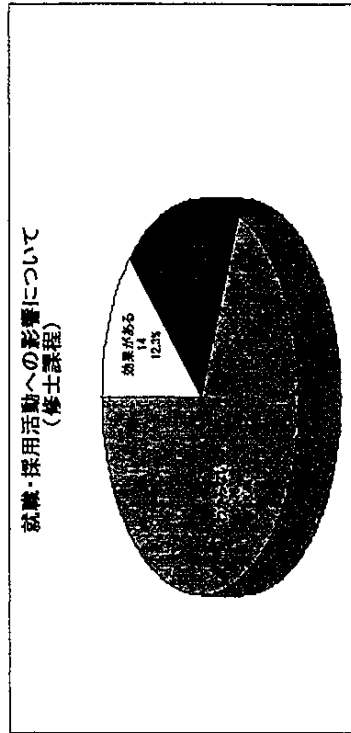


図3-3

